

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 195

発生場所	洗面所・浴室	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	その他	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

入浴時、転倒し、壁かけ鏡に顔面をぶつけ前額部が切傷した。

概要

当該患者さん（精神科病棟）は自力で入浴可能（見守りレベルではある）であり、洗身後湯舟に入ろうと手すりを持ち、立ち上ろうとして転倒し、鏡に前額部を打った。

要因

・ 築30年以上と古い建物であり、浴室もタイル張りの浴室で、鏡etc.の設置位置も適切でないかと思う。 ・ 手すりも設備可能な場所が低すぎて、介助バーには適していない。

対策

・ 浴室内の鏡を全てのけた。 ・ 見守りレベルの患者であっても、すぐに介助できる様、患者さんの近くで見守る。

参照



浴室の手すりの間に鏡が設置されていたが、取り外した

